

計 画 書

中部広域都市計画用途地域の変更（読谷村決定）

都市計画用途地域を次のように変更する。

種 類	面 積	建築物の容積率	建築物の建ぺい率	外壁の退避距離の限度	建築物の敷地面積の最低限度	建築物の高さの限度	その他及び備考
第一種低層住居専用地域	約5.7ha 約441ha	6/10以下 10/10以下	3/10以下 5/10以下	—	—	10m 10m	0.9% 70.2%
小 計	約446ha						71.1%
第二種低層住居専用地域	—	—	—	—	—	—	—
第一種中高層住居専用地域	約77ha	15/10以下	6/10以下	—	—	—	12.3%
第二種中高層住居専用地域	約8.3ha	15/10以下	6/10以下	—	—	—	1.3%
第一種住居地域	約18ha	20/10以下	6/10以下	—	—	—	2.9%
第二種住居地域	約11ha	20/10以下	6/10以下	—	—	—	1.7%
準住居地域	約29ha	20/10以下	6/10以下	—	—	—	4.7%
田園住居地域	—	—	—	—	—	—	—
近隣商業地域	約16ha	20/10以下	8/10以下	—	—	—	2.5%
商業地域	—	—	—	—	—	—	—
準工業地域	約22ha	20/10以下	6/10以下	—	—	—	3.5%
工業地域	—	—	—	—	—	—	—
工業専用地域	—	—	—	—	—	—	—
合 計	約628ha						100.0%

注：端数整理のため、内訳の和は必ずしも一致しない。

種類、位置及び区域は計画図表示のとおり。

理由：波平平石原他西南地区は、スプロール化を防止しつつ計画的な道路網整備とシムクガマー帯の緑地及び斜面緑地の保全を図り、ゆとりのある田園住宅地区の形成を目標としている。これを受け、当該地区の適正かつ合理的な土地利用を図るため、用途地域の変更を行う。